

1 学期 終業式校長講話

## 「こころの通知票」

おはようございます。少し暑いですが、しっかりと話を聞いてください。

4月8日にスタートした1学期も今日で終了します。今日まで授業日数は71日を数えました。みなさんの71日間はどうかだったでしょうか。みなさんは今日、通知票をもらいます。

そこには1学期の学習について成績という形で、みなさんの頑張りについて特別活動の記録と先生方の所見という形で記載されています。

でも通知票だけに表せない一人ひとりのみなさんの71日があったのだと思います。だから今日の話のテーマは「こころの通知票」にします。

こころの通知票が、もしあったとしてその通知票をだれがつけるのかと言うとそれは、先生でも友達でも親でもない。それは自分自身です。なぜなら前にもお話ししましたが心は人には見えないからです。

まずは1学期の自分を振り返ってみてください。こころの通知票の付け方の規準を言いますね。

一つ目は、自分が出来る精一杯のことを一生懸命やって、自分に恥ずかしくない毎日を送ることが出来たかどうかということです。6月に凡事徹底、あたりまえ10か条について話をしました。授業は真剣に受けることが出来ましたか。清掃や給食準備は協力して毎日出来ましたか。係や委員会の仕事に真剣に取り

組みましたか。服装はきちんとしていましたか。時間を守ることが出来ましたか。

二つ目は、仲間を大切に人の気持ちを考えることが出来たかどうかです。自分だけ楽しければいい、人の気持ちは関係ないなんて思っていませんでしたか。不満があれば友達や先生にすぐにとげのある言葉をぶついたりしませんでしたか。授業を妨害したり物を壊したりしている人を見ても知らんぷりをしたり、反対に楽しんだり、<sup>はやし</sup>囃したてたりしていませんか。

もしこころの通知票があったらみなさんは自分の1学期に5をつけますか。それとも3ですか。1がついてしまう人はいませんか。

7月の学校だよりも載せましたが、4月の最初に「変わる」と言う話をしました。みなさんは1学期の間、変わることが出来ましたか？私が見ていても、良い意味で変わることが出来た人も多くいたと思います。反面、授業で落ち着かない状況が出て、悪い意味で変化してしまった人もいました。心ない発言や暴言などで授業妨害がされることもありました。大変残念なことです。

でも授業や勉強を頑張って成績を上げる事が出来るように、ちょっと心がけを変えて自分に厳しく、人には優しくするだけで、こころの成績も変わってくるのではないのでしょうか。

明日から44日間の長い夏休みに入ります。授業はないけれど、みなさんの心と体と頭脳の成長は止まるわけではありません。部活動などで体を鍛える、

勉強に懸命に取り組んで頭を鍛える。でもそれだけでなく、夏休みにしかできないことや体験をたくさんして心も鍛えてください。

1学期に変わりきれなかった人も2学期に向けて変わる準備を整えて9月に全員が元気に登校することを期待しています。